

### 3-2 福島県東部におけるラドン観測 (XXII)

#### Radon Observation in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (XXII)

東京大学大学院理学系研究科

Graduate School of Science, The University of Tokyo

前報<sup>1)</sup>に引き続き、福島県東部における地下水のラドン濃度の連続観測結果(2004年6月～2005年6月)を報告する。

観測点は、第1図に示す相馬(SOM)、鹿島(KSM)、楢葉(NRH)の3地点である。第2図は、SOM、KSM、NRHにおける、1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均値の時系列である。図の右上には、1998年以降のラドン濃度の観測値を示してある。

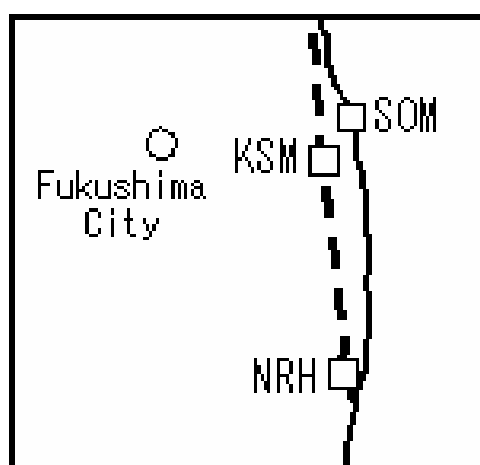
SOMでは例年どおりラドン濃度はきわめて一定である。また、どの観測点でもラドン濃度には、夏高く冬低い年周変化が見られる。

KSMでは2003年10月に計測システムの更新を行ったために、カウント値が1200cpm程度小さくなった。

NRHでは現在計測を停止している。

#### 参 考 文 献

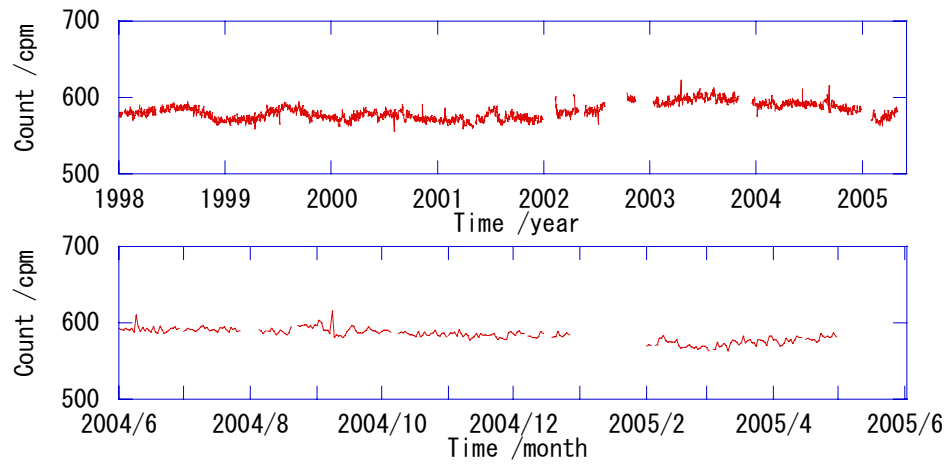
- 1) 東京大学大学院理学系研究科：福島県東部におけるラドン観測 (XXI), 連絡会報, 72 (2004).



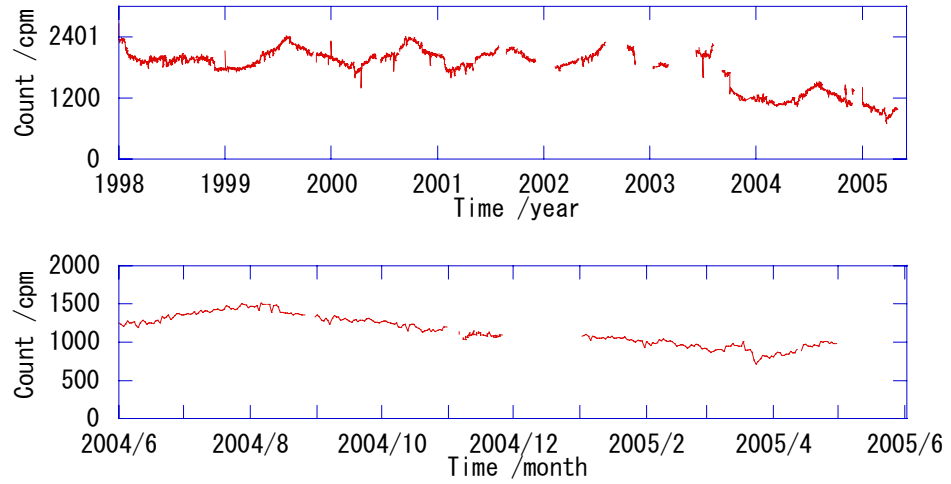
第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig.1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture.

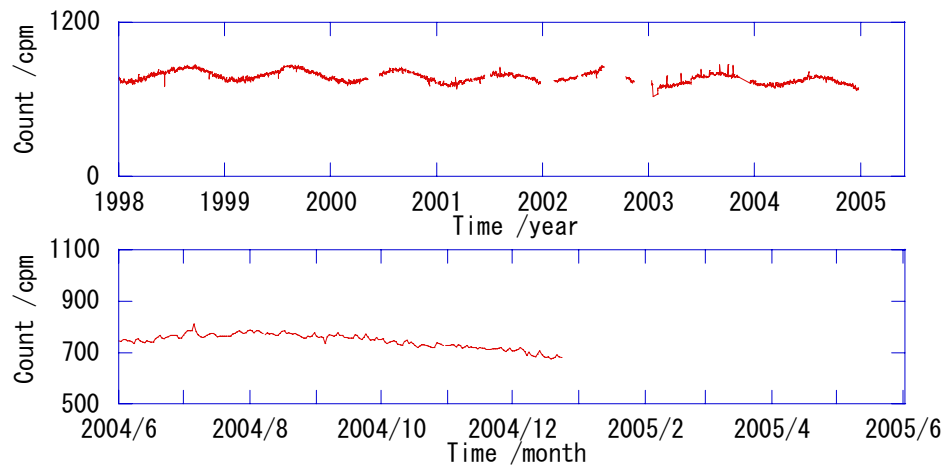
## SOM



## KSM



## NRH



第2図 SOM、KSM、NRHにおける地下水のラドン濃度変化

Fig.2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SOM, KSM, NRH. The data are 24-hour moving average value.